



## NPO皮膚病理発展推進機構からのお知らせ

皆様のご理解ご協力のもと、活動を続けておりますが、このたび国税庁より認定NPO法人として認可されました。ご支援いただいた皆様のおかげと心より感謝申し上げます。認定NPO法人とは、NPO法人のうち、その運営組織及び事業活動が適正であること、ならびに公益に資することについて一定の要件を満たすものとして、国税庁長官の認定を受け寄付金控除の対象となる法人です。みなさまからお寄せいただいた寄付金と賛助会費は、皮膚病理研修を受けるための奨学金や、当機構の運営に活用され、皮膚病理学の発展のために使われます。

詳細はホームページで <http://www.npo-jdpo.org/index.html>

## セミナーを開催しました



7月16,17日に皮膚病理講座基礎編を神戸で、8月7,8日には、開業医のための皮膚病理セミナーを札幌で開催いたしました。

両セミナーとも無事に盛会のうちに終了できました。神戸でのセミナーの様子を写真でご紹介します。

基礎編セミナーは、専門医試験対策でもあるため、2日間にわたり皮膚病理全般の解説し、最終日には専門医試験の過去問の解説もしています。

今後の開催予定は裏面でご確認下さい。



懇親会にも参加いただき、親睦を深めました。

## 退職のご挨拶

病理診断業務の精度管理を担当しておりました山口有里が、8月いっぱい退職することとなりました。これまでお世話になりました皆様へご挨拶申し上げます。

平成19年11月に主人の転勤で名古屋から札幌に参り、当初冬の生活が全く想像できず、とても心配しておりましたが、住んでみると札幌はとても過ごしやすい良い街と感じました。今まで、これ程、四季の移り変わりを感じた事ありませんでした。今回、東京へ引っ越すこととなり、札幌を離れるのはさみしい限りです。

さて、札幌皮膚病理診断科にお世話になってから、早いもので2年2ヶ月経ちます。臨床検査技師として初めて採用されたものの、皮膚疾患の事、病理組織の事、何も分からず手探りのスタートでした。なかなかご期待に沿えるような働きができなかったとは思いますが、そんな私を木村先生はじめ診断科に関わるすべての方が温かくお導きくださり、どうか今日まで勤める事ができました。本当にいろいろお世話になり、ありがとうございました。ここでの経験を今後の人生にも生かして行きたいと思っております。

末筆ではありますが、皆様のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。  
精度管理部門副主任 山口有里



最終日はお花で旅立ちを激励しました



送別会での集合写真です

## 久々の再会!



8月13日  
今年3月まで研修をされていた仙波祐子先生（三重大学皮膚科）が、遊びに来て下さいました。1日だけでしたが、一緒に顕微鏡をみながら、「再研修」されました。来年の夏もお待ちしています!

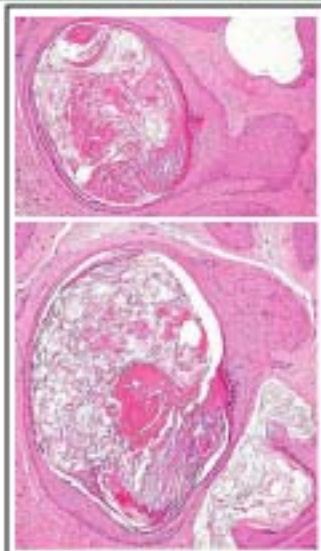


## 今月の症例

54才、男性 生検部位：臀部  
臨床診断：臀部 atheroma? 病理組織診断：Trichoadenoma



↑ 真皮内に、周囲を繊維性の結合織で包囲された上皮細胞でできた結節がある。



← 多数ある結節にはそれぞれ、角質を含む毛包漏斗部様囊腫構築があるが、漏斗部以下の毛包組織はない。



↑ 一部では2ヶの囊腫様構築があたかも眼鏡のレンズのように中央部のつるでつながったように見えることもある。



8月10日、7、8月の誕生会を行いました。写真左から、岡和田さん、田中さん、和田さん、高野です。



素敵なお花をとケーキありがとうございました。



## セミナー情報

「皮膚病理診断への第一歩」

### 第3回皮膚病理講座・診断編 東京開催

日時：10月10日（日）10時～17時、11日（月祝）9時～16時

会場：日本医科大学 教育棟 2階 大講堂

- 内容：
- ・各種皮膚疾患の病理組織像を理解する。
  - ・皮膚病理診断学の3要素、診断基準項目、診断のてがかり、そして鑑別診断を具体的に把握する。
  - ・「絵あわせ診断法」のために必要な病理組織像を覚え、「パターン分類とアルゴリズム分析診断法」を理解する。

参加受付中！

札幌皮膚病理

検索

参加申し込みはこちらから

<http://www.ackermansidp.jp>

発行：札幌皮膚病理診断科

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842

e-mail: [office@sapporo-dermpath.com](mailto:office@sapporo-dermpath.com) website: <http://www.sapporo-dermpath.com> 編集担当：高野 敦子